



議会だより

しらたか

9月定例会
山形県白鷹町議会

Vol.152

2021年10月14日発行
(令和3年)



「共にがんばろう」 荒砥小学校運動会

新型コロナウイルス感染症との戦い	2	p
令和2年度決算審査	4	p
ここが聞きたい 本会議一般質問 町政を問う	13	p
知れば得する“ぎかい”のキホン「監査委員の役割」	17	p
追跡レポート「前回の政策提言は活かされたのか」	18	p
輝く地域の力「子ども美術造形教室 はーとあーと」	20	p

お手持ちのパソコンやスマホなどで議会中継をご覧くださいませ。録画でもご覧いただけます。



感染症との戦い



町はこれまでこんな対策をしてきました
(主なもの)

プレミアム商品券販売

利子補給

地域応援券配布



給食費支援

飲食業・酪農家等へ給付金

税の納付期限延期

妊婦さんへマスク配布

PCR検査助成



詳しくは
こちらから

新型コロナウイルス

9月定例会の概要

期間 9月7日～16日（10日間）

内容 竹田雅彦議員（白鷹町アルカディア財団の今後の経営について）
条例改正の専決1件、人事案件4件、令和2年度決算認定9件、補正予算7件、
条例制定4件、請願2件、町道認定1件（全て全会一致で可決）

コロナ対策に新たな事業

決

9月定例会で
決まりました

飲食店利用促進【事業費：1,600万円】

4人以下の飲食に補助（同居家族は人数制限なし）



補助金額：1人あたり 1,500円以上……500円割引
3,000円以上……1,000円割引
5,000円以上……2,000円割引
ほか、スタンプラリー事業も実施

宿泊施設支援【事業費：363万円】

感染拡大防止対策に必要な設備等の購入への支援など



ワクチン接種協力金【事業費：250万円】

ワクチン接種事業に協力した医療機関に協力金



修学旅行キャンセル料補助金【概算事業費：150万円】

コロナの影響で中止になった白鷹中3年生の
修学旅行のキャンセル料を保護者へ補助



決算審査は87質疑で審議

各会計決算の議決状況

会計項目		歳入（収入）	歳出（支出）	議決状況	
一般会計		109億7570万円	101億2004万円	全員賛成により認定	
特別会計	十王財産区	370万円	19万円		
	下水道	4億6373万円	4億4853万円		
	国民健康保険	14億9718万円	14億7352万円		
	農業集落排水	1億5689万円	1億5163万円		
	介護保険	16億7746万円	16億1314万円		
	後期高齢者医療	1億6084万円	1億5878万円		
事業会計	水道	収益的	3億2893万円		2億7917万円
		資本的	1504万円		2億2838万円
	病院	収益的	10億9327万円		11億5933万円
		資本的	2239万円		1億2554万円
合計		163億9513万円	157億5825万円		

(万円未満は端数調整)

※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

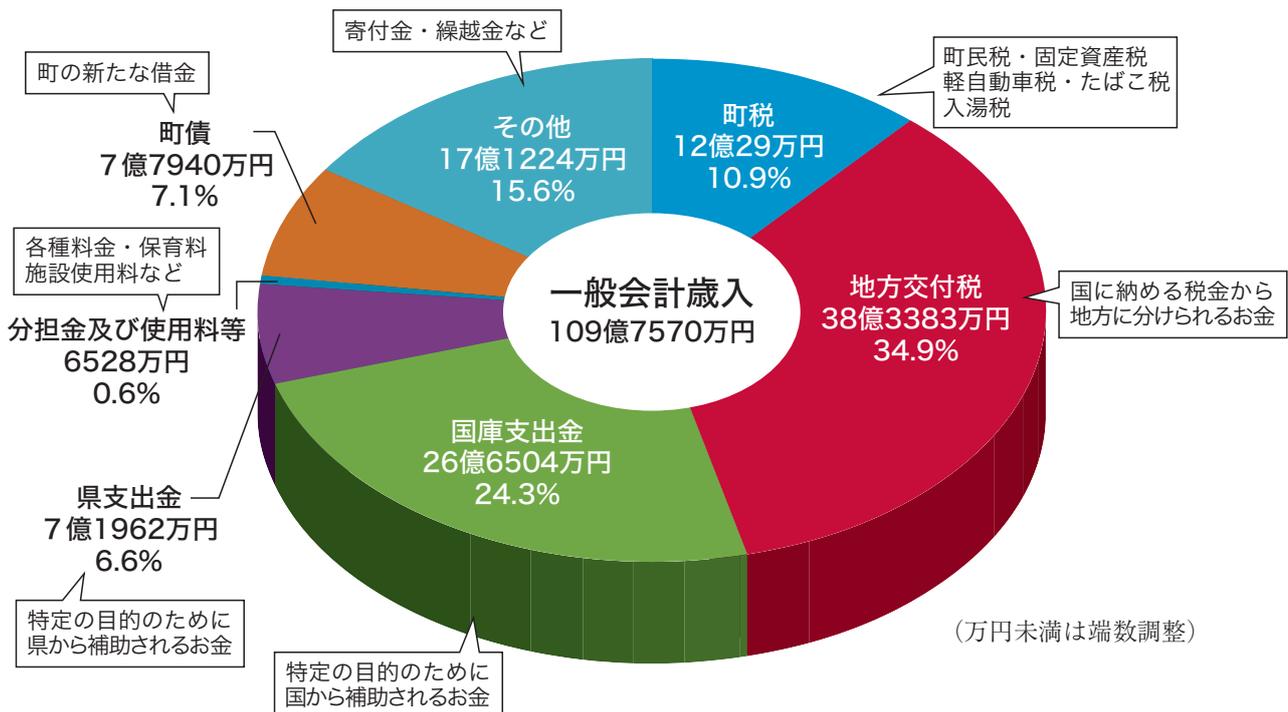
令和2年度の決算を審査

議会で可決した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、審査しました。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

6ページから関連記事

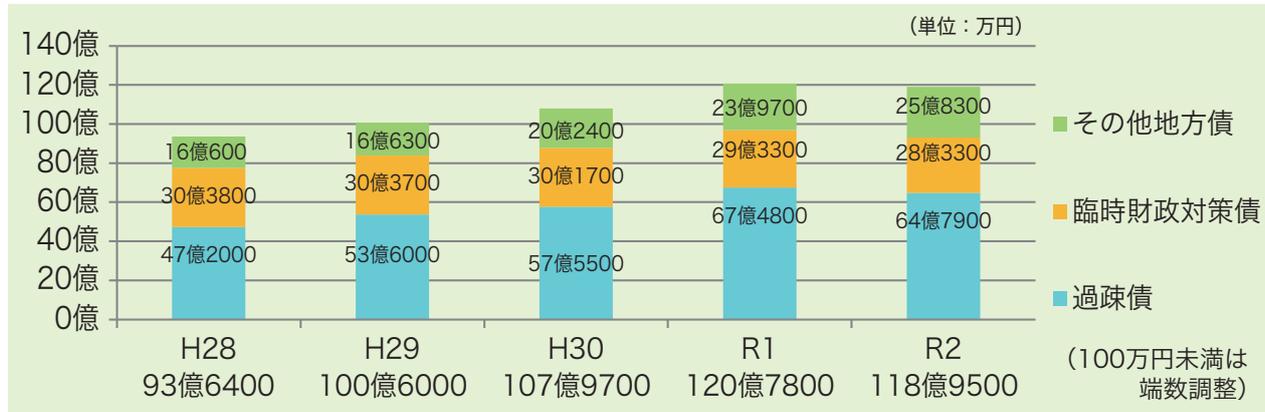
令和2年度に行った主な投資的事業 (万円未満は端数調整)

- 東根地区コミュニティセンター大規模改修 5550万円
- 御影地区ため池整備事業負担金 2646万円
- 町道安全対策 3593万円
- 防火水槽新設等 1370万円
- 公立学校情報通信ネットワーク整備 5447万円
- 鮎貝小学校プール改修 3320万円
- 蚕桑小学校屋根改修 3210万円
- 郷土資料館整備 1億3955万円



地方債(借金)の状況は

●地方債とは、町が会計年度を超えて行う借入れのことです。



●その他地方債とは

災害復旧や義務教育施設整備などのための借入れ。
返済額の一部は普通交付税として国から町に交付される。

●臨時財政対策債とは

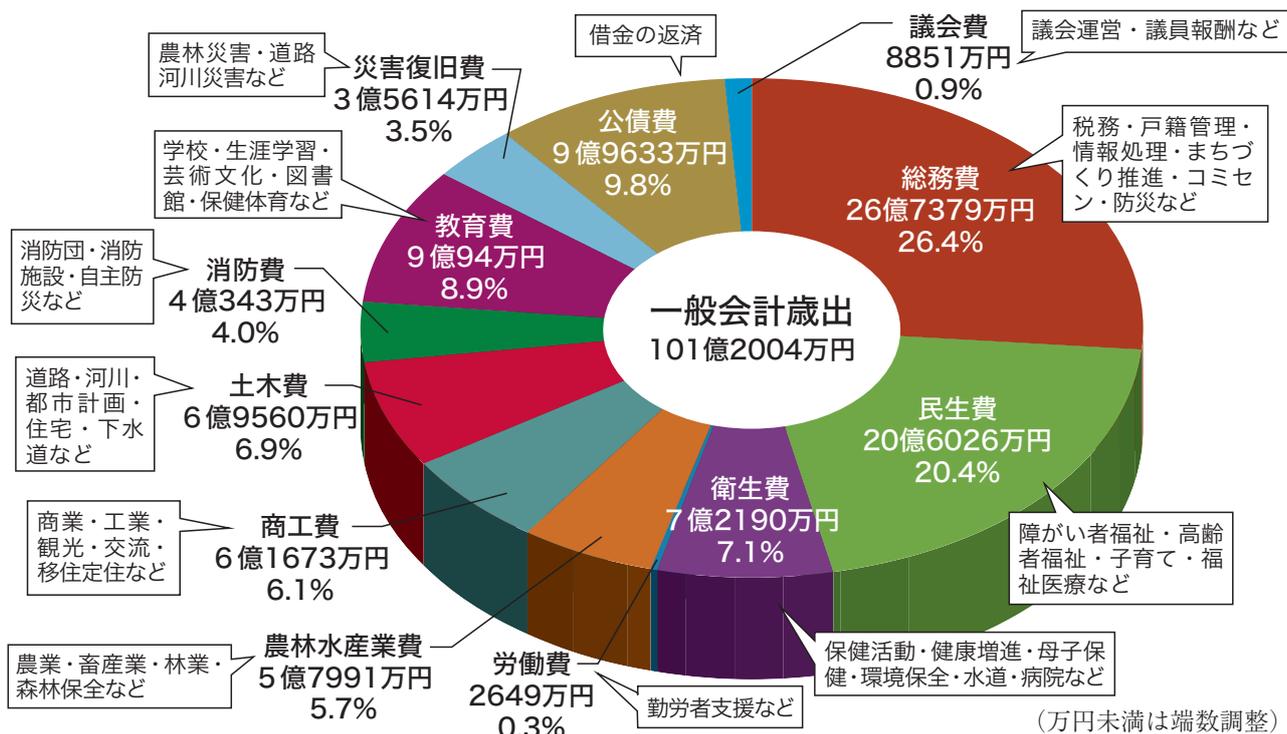
国の財源不足を補うための地方の借入れ。
返済額的全額が普通交付税として国から町に交付される。

●過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借入れ。
返済額の約7割が普通交付税として国から町に交付され、残りの3割を町が負担する。

白鷹町の財政力

区分・年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	説明
財政力指数	0.293	0.292	0.288	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	89.2	88.9	89.2	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	8.7	8.4	8.2	収入に対する負債返済の割合。



決算特別委員会

歳入
(町の収入)

質疑

新型コロナウイルス感染症による町内企業への影響は

小口委員 法人町民税が、コロナ

禍により14.3%、約1000万円の減少となっているが、コロナウイルス感染症による町内企業への影響をどのように捉えているか。

税務出納課長 製造業が約870

万円の減額となっていて、海外との物流、人

の流れなどへの影響から製造業の法人税割が不調になったものと考えている。

コロナ対応事業の状況は

小口委員 コロナ対応として実施

した固定資産税などの納期延長、地方税の徴収猶予の状況はどのようになっているか。

税務出納課長 固定資産税などに

ついては、収納率が前年度を若干上回ったので有効であった。地方税においては、令和2年2月1日から令和3年1月30日までの納期限のもので、申請件数は6件で税額は58万9000円となっている。

小口委員 町税全体の

93.7%と若干低下していることをどのよう

に捉えているか。また、収納率向上についてどのような考えがあるか。

税務出納課長 現年度分の

は上がっているが、滞納分と合計すると前年度比で下回っている状況である。収納率向上は重要な課題と捉え、県との共同催告や、訪問、電話、文書催告などの対策を実施している。

不動産売払収入増の内容は

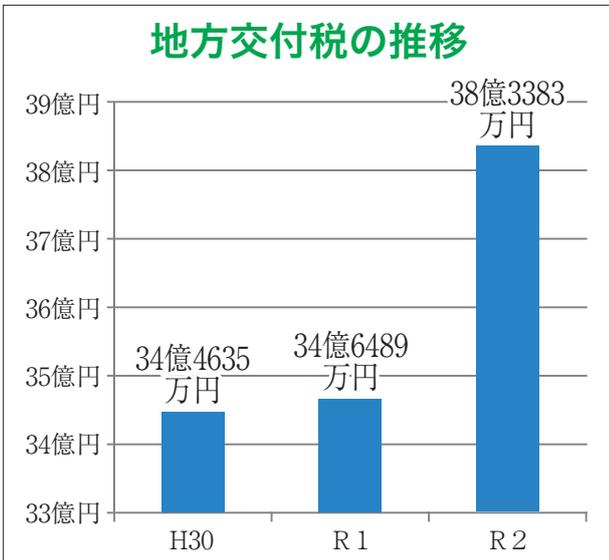
小口委員 不動産売払

収入が大幅に増加しているが、内容は何か。

総務課長 四季の郷の

区画の売却代金で、鮎貝土地区画整理組合から寄付を受けたものが完売となった。そのほか、法定外公共物の売り払いや、払い下げなどである。

地方交付税の推移



(万円未満は端数調整)

賛成 討論

コロナ禍の終息まで力強い施策の展開を望む



菅原 俊一 議員

コロナ禍の影響で法人町民税が減収するなど依然として交付税などへの依存度が高い。今後も人口減少が予測されるなか、有利な財源を確保して財政を支えていく必要がある。

7月豪雨の災害対

応は年度をまたぎ復旧工事が進む。情報伝達手段等の更なる整備が必要だ。学校関連ではICT環境が整い、住民生活ではデマンドタクシーの町外延伸の実証実験や、町産材の活用が進んだ。今後も町民目線に立ち、声を聴きながら、コロナ禍終息まで力強い施策の展開を望む。

歳出 (町の支出)

質疑

総務費

まちづくり複合施設に町民の声は
横山委員 令和2年度の整備内容は。町民の皆様のご意見は生かしたか。
総務課長 庁舎東側の駐輪場を整備した。
 また、町民の方からご意見をいただき、駐

車場や庁舎の入り口への看板設置、照明の増設、トイレ内の大型鏡への目隠しなどを行った。決算には出ていないが、町民ラウンジへの喫茶コーナー設置の要望があり、自動販売機の設置なども行った。

民生費

人工透析されている方への支援
関委員 本町において人工透析をされている方の推移は。
健康福祉課長 常に変動するような状況である。5年前は30名、現在は36名となっている。
関委員 送迎についての課題をどう捉えているか。
町長 通院距離が近くないということ
 を念頭に置きながらの対応が必要と思われる。

さまざまな要望をお聞きしながら、できる限りの応援をしていきたい。
高齢者に対する雪下ろし支援策は
金田委員 高齢者世帯
 援事業の決算額が大幅に減少している理由は何か。
健康福祉課長 例年の実績を見ながら予算化をしたが、2月以降の降雪が少なかったことが要因として把握している。

金田委員 町民からの評価は。
健康福祉課長 1件あたり約1万5000円から1万8000円に引き上げたことで、必要とする方には必要な支援が行き届いていると考えている。

衛生費

塩分の取り過ぎか
竹田委員 新事業である
 推定食塩摂取量検査事業の実績と課題は。
健康福祉課長 約1550人に検査を行った。男性の適正塩分摂取量は7.5gだが、適正値以下が823人中115人（約14%）、女性は6.5gだが、適正値以下が728人中59人（約8%）だけであった。



男女合わせて88.8%が適正量を超えており、平均すると男性9.8g、女性9.4g。少々高過ぎではないかと思う。この検査もある程度続けて結果を集め、分析し、今後の健康づくりに反映させていきたい。

労働費

正社員化支援の実績と課題
横山委員 正社員化促進事業奨励金について、当初予算165万円に対して実績は15万円ほどである。事業の実績と課題は。
商工観光課長 1事業所2名の方が正社員となられた。コロナ禍により正社員化が難しい状況のなか、頑張っていたと思う。

農林水産業費

補助事業採択に向けてどう進めるか
金田委員 園芸大国や
 まがた産地育成支援事業の決算額が、大幅な減少となった要因は何か。
農林課長 予算要望額の大きい事業について、要望された方からの取り下げがあったため。

金田委員 取り下げは仕方がないが、今後、補助事業採択に向けた対策は。
農林課長 事業要望調査を継続しながら、農業者の方と緊密な情報交換をしながら対応していく。



境界明確化の実績

菅原委員 森林境界明確化の実績は。

農林課長 予定していた中山地区が7月豪雨の影響で実施できず、萩野地区で※林地台帳の整備を行った。

菅原委員 航空レーザ測量の考えは。

農林課長 明確化作業を進めるうえで有効な手段。県との共同実施も模索したが、現在は単独実施の方向で検討している。

※林地台帳
地域森林計画の対象となつている民有林で、森林の境界や土地所有者などに関する台帳

進む町産材活用

菅原委員 町産材等木造建築推進補助金の実績は。

農林課長 総数は21件。内訳は住宅が18件、その内新築が7件、付属建物は3件。さらに町産材の使用件数は13件からご活用いただいた。

菅原委員 町産材は価格が高いと言われてきたが、補助金が活用された理由は、また拡充はあるか。

農林課長 町内の大工さん自ら営業した結果ではないかと捉えている。

農林課長 今後、需要が高まれば拡充もある。



商工費

鮎は増えたのか

竹田委員 鮎漁獲量拡大推進事業の成果は。今年度は、

商工観光課長 少し大きめの鮎を290kg、約2万匹を10カ所に分けて放流した。ブラックバスの駆除大会もロングランで行い、265匹、115kgほど駆除したが、鮎の漁獲量は約3500匹ほどで、令和元年の78%。

今年度は、のべ180人近い釣り人が約1千匹のブラックバスを駆除したが、鮎の漁獲量は見込みより少ない。駆除には相当な時間がかかるが、頑張つて取り組んでいくことがヤナ場を生かすために大切だと思つている。

町長 駆除には相当な時間がかかるが、頑張つて取り組んでいくことがヤナ場を生かすために大切だと思つている。

消防費

地域防災の充実

横山委員 地域防災活動強化支援事業の補助金約40万円はどのように使われたのか。

総務課長 各地区の自主防災組織の防災訓練などに支援するもの。研修会や訓練のほか、ヘルメット、ベストなどの購入があった。

横山委員 自主防災組織の活動が共有されて下支えになれば良いと思う。共に参加し合うなど、つながりの部分があつても良いのではないか。

総務課長 自主防災組織の連絡協議会でも周知しているが、地区での事業を今後共有しながら、町民の意識高揚につなげていきたい。

教育費

ALT1名増員の成果は

竹田委員 ALT(外国語指導助手)を小学校に1名増員したが、どのような成果があるか。

教育長 3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語の授業全てにALTを配置できた。白鷹町の特徴として45分授業を15分ずつ3日に分けて、できるだけ毎日英語の時間を設け、その際にもALTを配置してい

土木費

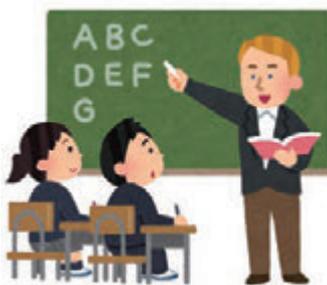
危険ブロック塀の撤去

小口委員 危険ブロック塀等撤去促進事業の実績件数と申請の経緯は。

建設課長 十王地区で1件、畔藤地区で1件の合計2件となつており、町のホームページや町報をご覧いただいた際の申請と思われる。

危険ブロック塀等撤去促進事業の実績件数と申請の経緯は。

危険ブロック塀等撤去促進事業の実績件数と申請の経緯は。



る。さらに授業の時間だけでなく、一緒に遊んだり、給食を食べたりと学校教育活動全体を通して、日常的に英語に触れる環境づくりができています。

白鷹学講座

横山委員

白鷹学講座 開催支援事業補助金の実績は。

教育次長

件数は2件。児童作家の講演会、瑞龍院と町の歴史文化に関する講演会(写真)に交付した補助金を活用してさま



ざまな取り組みが広がってほしいが、ピールなどに工夫はあるか。

教育次長

自分たちで講演会などを企画したいという声もあり、昨年度から補助金方式に変えた。町報、町ホームページなどを通じて周知し、ピアールを図ったが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施を控えていると思う。

予備費

予備費の使いみち

小口委員

決算額において予備費から約1億円が使われているが、その内容は何か。

総務課長補佐

感染症対策に約3900万円、経済対策に約6100万円、豪

雨災害対応に約200万円を使わせていただいた。それぞれ迅速かつ適切な対応ができた認識している。

特別会計

国民健康保険特別会計

国民健康保険運営基金について

奥山委員

基金を取り崩して運営しているようだが、状況と課題は。



町民課長

令和元年度から高い標準税率が示されたが、白鷹町では国民健康保険税率を上げることなく、不足分は基金からの充当によって運営することができた。昨年度は最終的には3000万円を基金に積み立てしたが、令和3年度からは税率引き上げの改正をさせていただいた。

奥山委員

安定的に運営するため、基金のあり方をどのように考えているか。

町民課長

ある程度の積み立ては必要かと思うが、一気に税率を上げて基金を積み増しするということとは困難であるので、必要とされる納付金額

を賄えるような税率を検討していくことが大事かと思う。

介護保険特別会計

介護給付費減少の要因は何か

竹田委員

居宅介護サービス給付費と介護予防サービス給付費が昨年度よりも減少している。要因は何か。

健康福祉課長

要介護・要支援認定者数は885人で前年度より18人の減。さらに、介護サービスを利用される方の平均は443人と約40人の減であり、平均寿命の延びや医療の進歩によって、当町に限らず減少傾向がみられる。また介護予防教室の実施も効果があるのではない

竹田委員

利用者数の減少はサービス提供事業者にも影響が出る。まもなく団塊の世代の方々が後期高齢者となるが、今後の見通しはどうか。

健康福祉課長

今後65歳以上の高齢者は減少に転じていくが、75歳以上の後期高齢者数は令和7年度から増加すると見込んでいる。さらに令和12年頃からは85歳以上の人口増加が見込まれ、一定程度の介護基盤は必要である。事業者の方々とは情報交換しながら考えていくべきと思う。



公営企業会計

水道事業会計

モニタリングは
どのような内容か

奥山委員

水道事業経営戦略の事後検証に、年度ごとにモニタリングを行うとあるが、どのような内容か。

上下水道課長

効率的で健全な企業経営を目指し、投資財政計画の実施、あるいは進捗状況について分析、評価、検証を行っている。

奥山委員

水道料金の改定について



でのモニタリングにおける今後の考え方は。

上下水道課長

毎年度の決算値に基づき将来推計の再推計を行うことで、料金改定のタイミングを見極める必要がある、水道経営審議会などのご意見をお聞きしながら検討したい。

町立病院事業会計

医療費用における課題は

奥山委員

医療収益が減少しているなか、医療費用が増加しているが、課題は何か。

病院事務局長

主に経費が増加したものであり、医療機器の購入の際には、保守費用についても十分検討する必要がある。

人材の確保について

奥山委員

医師不足が叫ばれているなか、研修医の受け入れをすることが医師確保に効果があると思いが、状況はどうか。

病院事務局長

毎年10人以上、月平均一人以上の研修医が、町立病院で1ヵ月



奥山委員

地域医療研修を行っている。その中で将来本町に来ていただくということは、なかなか見通せない状況である。

病院事務局長

薬剤師の確保も課題となっている。採用についてはほかの病院の状況なども参考にしながら、うまくいく方法を検討する必要がある。

監査意見

計画的・効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな課題を克服しながら、町政の発展と町民の福祉の向上が図られることを期待する。

実質収支は6億5669万2千円の黒字となり、実質収支比率は、前年度に比べ1.3ポイント減少し、13.3%となった。

経常収支比率は、0.3ポイント上昇し89.2%となり、80%台は維持しているものの硬直化は続いている。

上昇が続いていた町債残高は、発行額が償還額を下回ったことにより、1億8255万6千円減少したが、実質公債費比率は8.7%と前年度に比べ0.3ポイント上回った。

主な事業では、子育て支援、小中学校のICT環境や郷土資料館の整備、若者定住を促進する移住・定住対策、町道や橋梁の長寿命化対策など積極的に事業が展開されたことを評価する。

当年度は「第6次白鷹町総合計画」がスタートした年である。今後も厳しい財政状況が続くが、共創のまちづくりの理念の下、新たな課題を克服しながら、町政の発展と町民の福祉の向上が図られるよう一層の努力を望む。

代表監査委員 竹田 謙一
監査委員 丸川 雅春

補正予算

6次産業化に追加補正

一般会計補正の主なもの

デジタル推進事業	100万円
各地区コミュニティセンターで行うスマートフォン教室等への対応	
鮎貝地区コミュニティセンター大規模改修事業	8300万円
空調設備など大規模改修工事	
がん検診推進事業	63万円
重粒子線によるがん治療における公的医療保険の適用外となる治療への支援	
白鷹町新型コロナウイルスワクチン接種事業	1797万円
ワクチン接種協力医療機関への協力金ほか	
6次産業化支援事業	50万円
6次産業化支援枠の追加	
気象災害等対策生産資材緊急支援事業	1080万円
4月の凍霜、5月以降の降ひょうなどにより被害を受けた農業者への支援	
飲食店利用促進事業（感染症対応）	1600万円
需要拡大に向けた町内飲食店への支援	
追分味噌田線道路改良事業	1400万円
狭くなっている部分の改良と側溝の工事	
学校管理費（感染症対応・修学旅行等補助）	150万円
感染症の影響を受けた保護者の支援	
文化財保護対策費	457万円
昨年の豪雨災害で被災した町文化財（諏訪神社）の復旧支援	
保健体育施設費	383万円
保健体育施設の修繕	
	など
◎財源は、国・県支出金、繰越金、町債などで対応します。	

質疑

6次産業化支援

金田委員

6次産業化事業が拡大

している理由は、

当局

今年度から要綱を見直し、補助

率も3分の2となるケースもある。近年は年間2件ほどの応募だが今年度は4件の応募があり、追加で計上した。

修学旅行の代替案

笹原委員

修学旅行は中止となり、

キャンセル料は町が補助したが、旅行の代替案は考えているか。

当局

修学旅行が中止となった場合のアンケートを取った。

その結果と感染状況を踏まえながら、庄内方面への日帰り研修を予定している。

スキー場運営委託

横山委員

スキー場の運営が直営

から委託に代わるようだが、町民への影響は、

当局

不規則な勤務形態のため、会計

年度任用職員制度にそぐわず見直すもの。スキー場全体の運営は町が行うため、これまでと変わらないサービスを提供できると思う。

体育施設の修繕

丸川委員

保健体育施設修繕費の

内訳は、

当局

蚕桑紬パークの換気窓の開閉設

備修繕、旧中山小学校体育館の修繕と清掃ほかである。



蚕桑紬パーク

令和3年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額	
一般会計	2億2300万円	89億2300万円	
特別会計	下水道	470万円	4億6634万円
	国民健康保険	104万円	14億9606万円
	農業集落排水	238万円	1億7499万円
	介護保険	5575万円	17億8298万円

(万円未満は端数調整)

条例

●固定資産税の課税免除に関する条例の制定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、一定の事業用資産の取得などをした製造業などの固定資産税を3年間、申請に基づき課税免除する。

●固定資産税の課税免除に関する条例の改正

地域経済けん引事業の促進のための固定資産税の課税免除条例の、対象となる資産の取得期限を令和5年3月31日に延長する。

●地域交流施設の設置及び管理条例の改正

地域交流施設の構成施設に「地域交流広場」を加える。

ほか2件

町道認定

●十王地内の町道認定

集落内の生活安全確保などのため、町道に認定するもの。

路線名	起点	終点
山王南線	十王字山王南 2824-1	十王字山王南 2824-7

人事

●白鷹町教育委員会委員

渡辺 久美 氏（荒砥甲）
任期満了（9月30日）に伴い、引き続き任命するもの。

●白鷹町固定資産評価審査委員会委員

船山 義彦 氏（畔藤）
任期満了（9月25日）に伴い、引き続き任命するもの。

●人権擁護委員

嶋林 淳子 氏（荒砥甲）
菅 文隆 氏（山口）
任期満了（12月31日）に伴い、引き続き推薦するもの。

請願

●国に対し、「国連で採択された核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

請願者 原水爆禁止西置協協議会
代表 青木 慶一
紹介議員 関 千鶴子

審査過程

付託委員会 総務厚生常任委員会
委員長報告 継続審査
賛成討論 なし
反対討論 なし

=全員賛成により、継続審査=

●米の需給調整に関する請願

請願者 山形おきたま農業協同組合
代表組合長理事 若林 英毅
山形おきたま農協農政対策本部
白鷹地区本部長 丸川 正博
紹介議員 菅原隆男、金田 悟

審査過程

付託委員会 産業建設常任委員会
委員長報告 採択すべきもの
賛成討論 なし
反対討論 なし

=全員賛成により、採択=



誰もが主役
荒砥小学校運動会
9月21日、秋晴れのなか荒砥小学校運動会が開催されました。コロナ禍でさまざまな行事が縮小・延期されるなか、感染対策をしっかりと行いながら開催された運動会。大会では子どもたちの笑顔や悔しそうな表情を拝見できましたが、その影には、ご家庭や先生のご苦労、葛藤や挑戦があったことと思います。
たくさんの愛情を背に受けて、白鷹町の子どもたちは伸びやかに大きく育つことでしょう。

表紙

お客様目線で経営改善を探れ

～（一財）白鷹町アルカディア財団の今後の経営について～

町長 民間事業者と意見交換し、有効活用の可能性を調査する



録画を配信



竹田雅彦議員

今後どうしていくか

問 今年度、アルカディア財団へ1億円の出捐が認められた。町としてどのような指導や助言を行ったのか。

町長 月例会で経営状況を伺い、観光協会の意見も踏まえ、誘客に向けた企画を提案したり、支援制度の情報提供に努めてきた。

問 今後どうしていくのか。

町長 観光施設全般について、民間事業者との意見交換を通して、有効活用の可能性を調査したい。

設置者の責任

問 今後も設置者の責任として財団と一緒にやっていくのか。

町長 設置者としての責任は当然であるが、経営は財団の責任でやっていただく。ただし、さまざまな相談や協議をしながら進めていきたい。

問 危機感を財団職員と共有できているか。

町長 会議時の事項は上司から部下へ伝達されているが、徹底については再度促した。

町内への影響

問 経営が悪化した際の影響は。

町長 パレス松風への納入業者の約60%、40社余りが町内の取引業者であり、すでに多方面に影響が出ていると捉えている。

問 パレス松風の強みをどう捉えているか。

町長 町内を一望できる眺望のよさや、自然の中で心をリフレッシュできたり、屋外のスポーツ施設も充実しているところと捉えている。

問 強みを生かすには外部の発想も大事。アドバイザーの活用は。

町長 過去に数回、継続した力として

問 将来のまちづくりを担う役割も期待されているが、どういった取り組みを期待しているか。

町長 経営のわかる人材も必要だが、実態を捉えて自ら考えて実行でき、目標が共有され、きちんと取り組めるような組織であってほしい。

問 今後、経営を改善し結果を出していくには、お客様目線での議論が大事ではないか。

町長 町民の皆さんの目線と同じにし、皆さんに喜んでもらえる施設になるよう努力しながら、一番いい方法を模索していきたい。



一般質問とは、議員が町政全般について、政策の提言や質問をすることをいいます。その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、

総務厚生常任委員会 9月9日

活力ある社会維持のために

第6次白鷹町総合計画の成果目標に対する進捗状況について説明を受けた。

町当局の説明

【概要】

白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成30年度をもって第1期の5年間で完了したところであり、第2期では引き続き、「2040年に約1万5000人の人口確保」の展望に立ち、活力ある社会を維持する施策を展開している。

【成果目標の評価】

AとDの4段階評価を実施。A・B評価は51項目中41項目で、一定の進捗があった。C・D評価は10項目。対応策を検討し、目標へ向けた取り組みを強化し

ていく。

D評価の項目

- ① 森林経営計画策定の増
- ② 町立病院の収支の黒字化
- ③ 芸術祭参加率の増
- ④ 縁のある市町村との交流者の増
- ⑤ 人口の社会減の抑制
- ⑥ 技能検定特級合格者数
- ⑦ 若者の創業
- ⑧ 伝統工芸後継者の確保



質疑

低評価の目標変更は

委員 低評価のものは目標数値の変更を考えているか。

当局

コロナの影響の前に設定した指標であるが、影響が長期化すれば目標も含めて考えたい。

委員

伝統工芸後継者の確保は1名の目標があるが、深山和紙なのか。他にも業種があるのか。

当局

どの分野という想定はないが、さまざまな事業を通じて、次の代の担い手の可能性を探っていきたい。

町当局の説明

【趣旨】

インターネットに繋がることができる「モノ」、巨大で複雑なデータ、人工知能などの情報通信技術の活用により、町民の生活の質や産業分野の生産性の向上、安心・安全なまちづくりを推進するために策定するもの。

【推進期間】

令和6年度まで。

【基本的な考え方】

- 目標 情報通信技術の利活用による「共創のまちづくり」の拡大・加速
- 取り組み事項
- ① 町内産業の活性化
- ② 町民サービスの向上

ICT活用で安心・安全なまちづくりを

白鷹町ICT推進方針の概要(案)について説明を受けた。

質疑

デジタル格差への対応

委員 デジタル化による町民へのサービスの格差が生じないようにする具体的な取り組みは。

当局

すぐに対応ができない方には、従来の手続きと並行して徐々に移行し、町民に不安を与えないような周知もしながら進めていきたい。

委員

効率化になれば、時間が生まれ、人が余ってくる。効率化した先の姿をどのように考えているか。



当局

効率化によって、事務処理の時間を減らし、町民と対話等をする部分に注力することが可能になる。

その他

- 鷹山地区拠点施設整備事業基本構想(中間報告)
 - 白鷹町地球温暖化対策実行計画(案)
 - 白鷹町国民健康保険の運営状況
 - 第2期健康と福祉の里構想
- などについて説明があった。

前進するか、6次産業化

6次産業化推進拠点施設について説明を受けた。

町当局の説明

【経過】

○6次産業化推進戦略に基づき、推進拠点の整備に向け、検討委員会や農業者、関係機関との意見交換を行い、検討を進めてきた。

【整備内容(案)】

- 施設概要
 - ・規模 120坪程度
 - ・場所 「食と農村交流施設」周辺
- 拠点機能
 - ・食品検査機器などを共同で利用できる部分と、個別利用部分を整備。
 - ・商品開発や販路拡大等のアドバイスができる人材を配置。
- 管理
 - ・指定管理者制度を活用し、民間が運営。

質疑

求められる人材は

委員 どのような能力のある方を配置したいのか。

当局 経営や機械設備などすべて包含できる方がありがたいが、特に食品管理に詳しい方を考えている。

委員 販路拡大の人材も必要では。

当局 販路拡大に詳しい地域づくり協力隊がいればお願いしたいし、商工会のご協力もお願いしたい。

待ちに待った施設

委員 6次産業化を目指す人には待ちに待った施設。施設を貸す期間はどうか。

当局 機器などの使用は時間制限とし、

貸し工房は年間単位としたい。

既存生産者の利用は

委員 現在6次産業に取り組んでいる方との整合性は。その方も利用できるのか。

当局 そのような方々からも要望を伺って整備したい。活用してほしい。

町長 いろいろな意見をいただきながら、産業として育てられるよう進めたい。



町当局の説明

【これまで】

パレス松風については、温泉施設を主とした保養センター機能の整備後、宿泊・宴会施設を主とした魅力化機能の整備を行うこととしていた。

【現状】

令和2年度決算や第1四半期の状況を踏まえると、再整備より、白鷹町アルカディア財団自体をどうするかを優先させる必要がある。

【これからの方向性】

※サウンディング型市場調査を実施し、専門的スキルのある民間事業者への指定管理の変更や再整備、収益が見込め経営が可能かを調査する。
再整備は並行して進める。

民間事業者との意見交換実施へ

ふるさと森林公園再整備の状況について説明を受けた。



取ってはどうか。

当局 お客様からアンケートをいただいております。町民全体へはどうかと思う。

委員 町民への調査も重要だと思うが、

町長 ご意見をいろいろ伺わせていただきながら、方向性を探らせていただきた。

質疑

並行して進めるのか

委員 サウンディング調査後に再整備の検討を進めるべき。なぜ並行して進めるのか。

当局 パレス松風は34年が経ち、劣化が進んでいる。湯量も安定しないため、温泉掘削はなくてはならないものであり、並行して進めたい。

町民へのアンケートは

委員 どうすれば利用したくなるか、町民からアンケートを

※サウンディング型市場調査
民間事業者との意見交換を通し、事業に対してさまざまなアイデアや意見を把握する調査

その他
○白鷹町森林(もりん)とつながる暮らしビジョンの策定について
○伝統工芸の村について
○白鷹町都市計画用途地域の見直しについてなどについて説明があった。

議会活性化特別委員会 9月16日

時代はペーパーレス議会へ

執行部への反問権付与、ペーパーレス議会（タブレット議会）について協議した。

【ペーパーレス議会視察研修】9月21日

先進的に取り組んでいる朝日町議会から説明を受けてきた。実施に向けて前向きに検討していくことになった。

全員協議会 8月26日

満12歳から15歳も接種へ

感染症対策本部・緊急経済対策の状況について説明を受けた。

町当局の説明

満12歳から15歳の接種について、接種希望者は87・9%であり、9月中に2回の接種が完了する予定。

質疑

特別視への対応は

委員 13%は接種を希望していない。望していない。学校で、接種しない子どもへの特別視が懸念されるが。

その他

○白鷹町過疎地域持続的発展計画（案）
○介護保険料の事務誤りについて説明があった。

当局

誹謗、中傷、差別が無いよう、保護者全員に通知を出した。学校で接種の有無の情報収集はしないよう注意喚起している。

総務厚生常任委員協議会 8月26日

ガン治療の患者負担軽減

重粒子線がん治療患者支援事業について説明を受けた。

町当局の説明

【背景】

放射線治療の一種で、がんに集中的に照射可能のため、ほかの臓器への影響などの副作用が少なく、短時間での治療が可能である一方、医療保険の対象となっていない肺がんなどの治療費は高額となる。

【目的】

重粒子線がん治療を希望する町民が、治療を受けやすい環境となるよう、医療保険が適用されない治療費の一部について助成を行う。

【事業内容】

照射治療費の2割を上限に助成する。

質疑

治療費は

委員 治療費は、1回につき314万円か。数回でも金額に変動はないのか。

当局

照射の回数に関わらず、1回の方も複数回の方も314万円である。



その他

○鮎貝地区コミュニティセンター大規模改修
○保育料段階的負担軽減事業
○歴史民俗資料館の状況について説明があった。

産業建設常任委員協議会 8月26日

森林集約の加速化なるか

森林・林業再生事業について説明を受けた。

町当局の説明

森林集約施策を進めるため、次の事業を前倒しして取り組む。

【各事業の概要】

- ①森林集約施策加速化支援事業
- ②森林経営計画樹立促進事業
- ③森林学習副読本作成事業

質疑

補助内容は

委員 どのような業務への補助か。

当局

境界策定作業の準備経費や森林境界立ち合いに係る経費などを考えている。

副読本の活用は

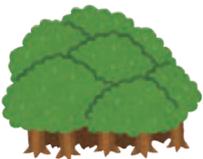
委員 森林学習副読本はどのような活用を考えているか。

当局

小学3、4年生の総合学習などでの活用を考えている。

その他

○気象災害対策
○公開質問状への回答について説明があった。



知れば得する“ぎかい”のキホン

第9回

監査委員の役割

白鷹町の議会には、地方自治法により、説明をする者として、監査委員も出席します。それでは監査委員のあれこれを見てみましょう。

●任期

識見委員は4年、議選委員は議員の任期に よるとされています。

●役割

監査委員は、町長や議会から独立した立場で、地方自治法に基づき、町監査基準を策定します。そして、町の財務に関する事務の執行や、経営に係る事業の管理などが法令などに基づいて適正に行われているか、また、予算の執行が計画的かつ効率的に行われているかという観点から監査を行ない、町長に意見書または報告書を提出します。なお、本町においては、議選委員は決算特別委員会の構成

●委員の構成

監査委員は、地方自治法の規定により、自治体の長が議会の同意を得て選任するもので、定数は町村の場合原則として2名とされています。本町では、町の財政管理や事業の経営管理などに優れた識見を有する者から選任された委員（識見委員）と議会議員から選任された委員（議選委員）で構成されています。

員とならないため、9月定例会で行われる決算特別委員会には出席していません。

●主な監査等の種類

・例月出納検査

会計管理者、公営企業管理者の現金の出納事務などを毎月検査します。

・定例監査

当年度の各課における予算の執行、事業の経営を2期に分けて審査します。

・決算審査

前年度の各課における予算の執行、事業の経営を審査します。

・財政健全化判断比率審査

それぞれの比率が適正に算定されているかを審査します。

・住民の監査請求による監査

町長や職員の業務上の不当と思われる

行為について、住民から請求があるときに監査します。

・住民の直接請求に基づく監査

選挙権有権者の50分の1以上の署名による請求があるときに、事務の執行について監査します。

・財政援助団体に対する監査

監査委員が必要と認めるとき、公の施設の指定管理者などの財政援助に係る出納や事務の執行を監査します。



生かされたのか!?

●提言 2 災害対策について

提言項目		町当局の回答
1	①災害時にリアルタイムで状況を伝えることのできる緊急情報サービスの提供に向けた環境整備	◎実施中のエリアメール、屋外拡声器、緊急配信メール等に加え、今年度よりインフォメーションアプリを導入する。高齢者世帯に戸別受信機の配備を進め、避難指示等の災害情報を的確に伝達する体制整備を図る。
	②十分な感染症拡大防止対策を講じながら、避難所でも情報伝達・収集できる整備	◎受付時の体調チェックや手指消毒等の感染防止対策を徹底。また、各コミュニティセンターの避難スペースにテレビを配備した。Wi-Fi環境の整備を進め、避難者の情報収集環境の改善に努める。
2	①地域防災計画の運営マニュアル等の作成により、防災に対する町民の関心・理解を図ること	◎災害発生時にスムーズに活動をいただけるような体制づくりの支援を継続していく。
3	①豪雨災害の箇所については、現況復旧に加え改良復旧にも取り組めるように国・県に強い働きかけ	◎早急な災害復旧工事の実施に加え、再被災防止のための被災原因除去や改良復旧方法等を検討し、国・県に要望する。
4	①災害発生時の道路の被害状況を把握、迅速に対応できる体制づくり	◎国・県の災害時のパトロール体制も参考にしつつ、迅速に対応できる体制づくりを検討していく。
5	①国道348号の路肩崩落など、重要幹線道路の早期復旧について国・県への働きかけ	◎年内の復旧に向け、現在、工事が進められており、今後も引き続き、発注者である県と連携しながら、早期復旧に努めていく。
	②重要課題である国道287号菖蒲、下山地内の早期完成	◎昨年度より菖蒲地内において路線測量、詳細設計などが行われている。事業促進に向け、県への要望活動を行っていく。
	③西廻り ^{まわ} 幹線道路の早期着工	◎昨年度から一般調査が実施されている。引き続き県へ要望を行い、長井～白鷹間西廻り幹線道路建設促進期成同盟会においても要望活動を行う。
	④国道348号の再整備	◎令和4年度から本格的な要望、啓発活動を開始していくべく、年内の期成同盟会設立に向け、協議を重ねながら、準備を進めていく。
6	①農繁期に向けての農地等の迅速な災害復旧	◎国の災害復旧事業を最大限活用しながら、営農活動に支障が生じないように対応していく。
	②農業が将来にわたり希望が持てる産業として成り立つための各種支援の充実	◎国・県の各種施策も有効に活用しつつ、関係機関との連携を図りながら取り組んでいく。

追跡 レポート

政策提言は

令和2年11月25日に町長に手渡した政策提言（議会だより149号参考）が、どのように生かされ、町民の暮らしに反映されているか。

当局から提示された「令和2年度白鷹町議会政策提言書に対する対応状況について」を掲載します。（抜粋）



● 提言 1 新型コロナウイルス感染症対策について

提言項目		町当局の回答
1	①白鷹町立病院が、町民の安心・安全のためのよりどころとなるような支援	◎感染対策、早期発見早期治療のための検査体制の強化、さらにはワクチン接種への積極的な取り組みを継続し、町民の皆様の安心安全を守るべく最大限努力していく。
	②医療従事者と福祉施設職員の肉体的、精神的負担軽減に向けての支援	◎休暇を取りやすい環境づくりや、精神的負担がかかることの無いよう、相談体制の確保に努めていく。
2	①「新しい生活様式」の定着の啓蒙を行い、来町しやすい環境づくり	◎これまで以上に徹底していただき、引き続き、感染状況を注視しつつ、状況に応じた必要な対応を行う。
	②地域コミュニティの希薄化対策	◎感染状況を大前提に、感染対策を講じ、地域づくり推進交付金等により支援をしていく。
3	①遠隔授業等の多様な授業形態による教育の格差が出ないような対策	◎Wi-Fiルーターの貸出や就学援助などを行い、家庭環境による教育格差が生じないよう努めている。
4	①影響を受けた事業者に対し、経営回復に向けた各種支援策	◎感染症のまん延状況や町内経済状況を引き続き注視し、必要な支援策を検討・実施していく。
	②「新しい生活様式」に向けた事業への転換や新ビジネスに挑戦する事業者への支援	◎専門家派遣事業による個別企業へ助言、町や国の補助金の利用案内など、企業の状況に応じた支援を行う。
5	①移住定住を促す機会と捉え、ニーズを調査し、それに即した取り組みの検討	◎この機会を逃さず、新たな働き方であるテレワークによる移住を推進することで、「地方への新しいひとの流れ」につなげていく。

子どもさんと
一緒に楽しんで!



渡辺 久美さん (荒砥地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

子ども美術造形教室 はーとあーと

… 誰もがアートを楽しめる教室を …

障がいのある子どもさんのほか、誰もがアートを楽しめる教室を始めた渡辺久美さんにお話を伺いました。

どんな活動ですか
さまざまな個性を

持った子どもたちが、年齢や障がいに関係なく、地域と関わりながら、絵画や造形を楽しむ活動です。

保護者の方も一緒に活動する幼児・小学生クラスと、基本的なデッサンや色彩構成を学ぶ高校生クラスがあります。

その子その子に合ったやり方で進めています。

活動のきっかけは

東日本大震災のあった2011年にウターンしました。

実家の冠婚葬祭業を手伝いながら、あゆむ主催のアートキッズの講師や個人の方への絵画指導をやっていたのですが、何人かのお母さん方からの要望を受け、新たに教室を設けてみようとして、今年から始めました。

大切にしていること

お子さんが集中して描いたり作ったりしているときは、あまり声をかけずに見守るようになっています。

上手にできなくても

なくとも、失敗してもしなくても、やっている過程が大事です。アドバイスは、きっかけを与える程度にして、どんなにささいなことでも自分で考えて

工夫したところを見つけて褒めてあげています。自分の子どもにはなかなかできませんけどね(笑)。

活動で感じること

私たち大人は、アートという分野を特別扱いしたがりますが、子どもたちはごく自然に何の気構えもなく、描いたり作ったりします。心の感じるままに。

これから

生徒さんを募集させていたたく予定です。町報にも掲載をお願いしたいと思っています。

議会へひとこと

子どもたち(特に小学校高学年・高校生の多感な時期)には、いろんな感じ方・考え方・表現の仕方があるということを、さまざまな作品を通して感じとつ



生徒さんの作品

てほしいです。

そのためには、授業の一端で展示会を見に行くなど、町の施設やスクールバスの活用が広がったらいいですね。

取材を終えて

白鷹町の文化的な豊かさの一端に触れたように思います。展示会などで多くの作品に出会い、楽しみたいものです。(横山)

編集後記



よもや新型コロナウイルスが、これほど我々の生活を脅かすとは……。しかも短期間で変異を繰り返していく、実にやっかいな存在。

本町は9月末でワクチン接種率が88%を超えました。全国的にも致死率は下がりましたが、持病などがある方も含め油断大敵です。ワクチン接種ができない方々にも十分な配慮をしていただきながら、少しずつ日常を取り戻していきたいところです。

決算特別委員会で検査者の9割弱が塩分摂取量過多という報告がありました。コロナ禍の中、日々の生活習慣を見直す必要があるのかもしれません。(竹田)

広報委員

- 委員長 原 俊一
- 副委員長・編集長 金 田 悟
- 委員 丸 川 雅 春
- 委員 竹 田 雅 彦
- 委員 横 山 和 浩
- 印刷・長谷川印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会議中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会議事務局までお寄せください。